

ベトナム語母語話者にとって漢越語知識は日本語学習に どの程度有利に働くか

——日越漢字語の一致度に基づく分析——

松 田 真希子*

タン・ティ・キム・テュエン**

ゴ・ミン・トゥイ***

金 村 久 美****

中 平 勝 子*****

三 上 喜 貴*****

キーワード：ベトナム語，漢越語，対照研究，語彙教育，漢字認知

要 旨

本研究は、ベトナム人日本語学習者のための日本語の漢語とベトナム語の漢越語の対照分析である。現代ベトナム語は漢字を使用しないが、語彙には漢語からの借用語（漢越語）が多いため、韓国語・日本語と同様に漢字文化圏に属する。そのため、ベトナム語母語話者は、日本語を学ぶ際に学習ストラテジーとして漢越語知識を活性化させていることが明らかになっている(Tuyen 2003)。しかし、実際に漢越語知識がどの程度日本語学習に効果があるかはまだ明らかにされていない。そこで本研究では、ベトナム人学習者が日本語を学ぶ際、漢越語の知識がどの程度日本語学習に役立つかを明らかにすることを目的に、日本語能力試験出題語彙全約 8,000 語に占める二字漢字語約 4,000 語における漢越語との意味の一致状況を調査した。その結果、

- (1) 二字漢字語においては全体の 5 割が一致語や類似語である。
- (2) 1 級と 2 級の二字漢字語については日越漢語の一致や類似が 6 割近くに達し、更に語彙全体に占める二字漢字語の比率も 1 級 56%，2 級 46% と高くなっている。
- (3) 4 級語彙については日越の漢字語彙の一致度は多くとも 2 割以下である。3 級も同様に一致度は低い。
- (4) 和製漢語と漢越語の一致率は 6 割以上であり、学術専門用語であれば更に一致する可能性がある。

*MATSUDA Makiko：長岡技術科学大学講師

**THAN Thi Kim Tuyen：ハノイ国家大学外国語大学講師

***NGO Minh Thuy：ハノイ国家大学外国語大学講師

****KANAMURA Kumi：名古屋大学講師

*****NAKAHIRA Katsuko T.：長岡技術科学大学助教

*****MIKAMI Yoshiki：長岡技術科学大学教授

ということを明らかにした。これにより、漢越語知識は日本語の習得に役に立つが、特に効果が発揮されるのは中級以降であること、また学術専門用語の学習には漢越語知識が役に立つ可能性が高いことが明らかになった。

ただし日本語学習における漢越語の効果については個々の意味の対応の調査だけでなく、書字や音との関係性も踏まえて漢字語彙の認知処理の状況を調べる必要がある。今後の課題である。

1. はじめに

近年ベトナム人日本語学習者数は急速に増加している。日系企業の工場進出に伴う日本語需要の増加が第一の原因と考えられるが、多くの若年層を抱え、高等教育機関も不足しているベトナムでは、日本への留学生数も急激に増加し、2006年ではマレーシアを抜き中国、韓国、台湾に次ぐ第四位となった。今後も日本語学習者や日本への留学生数は増加することが予想される。

一方、学習者数の急激な増加にもかかわらず、ベトナムは他の日本語教育先進地域（アメリカ、中国、韓国、タイ、マレーシア）などと比べ、日本語教育の基礎研究も教材開発もほとんど進んでいない。音声研究でいくつかまとまった研究があり¹、自国で製作された語彙集、表現集や日本で製作された教材の翻訳版が多少ある程度で、語彙、文法、聴解、教授法等あらゆる方面で研究を推進する必要性がある。

本稿では、ベトナム人の日本語教育への基礎的な研究成果の蓄積に貢献する研究の一環として、漢字教育に焦点を当てる。漢字教育を取り上げる理由は、漢越語の正の転移にある。世界中の言語の中で、日本語を学習する上で最も有利な母語が韓国語であることは間違いないだろう。そしてベトナム語の語彙は韓国語と同様、固有語の上に漢字語（古典中国語系語彙）と英語などの欧米系借用語の二つの上層を持つという意味において日本語と似た語彙構造を持っている。実際ベトナム人日本語学習者が日本語の漢字語と自国の漢越語に一致を感じることは少なくない。しかし、漢字圏といわれる中国語や韓国語母語話者と比べた時、同程度に日本語の習得が早いということは決してない。果たして彼らにとって漢越語の知識はどの程度日本語学習に有利に働きののだろうか。

本稿では上記の問題意識に基づき、ベトナムで用いられている漢字語（漢越語）と日本語の漢字語の対照データベース作成にもとづく調査結果を報告し、ベトナム人にとって効果的な語彙教育に関する考察を行う。具体的には、日本語能力試験出題語彙における二字漢字語約4,000語をベトナム語と対照し、漢越語がどの程度日本語の漢字語と一致しているかについて分析することにする。

¹ 音声研究では金村（1999）のアクセント習得の研究や小原のイントネーションの研究がある。

2. ベトナムにおける漢字教育における漢越語使用の現状

現在、ベトナムでベトナム語母語話者に対して漢字教育が行われる場合、「漢越語は日本語学習に有利に働くため積極的に活用したい」と考える教育機関と、「有利に働かないため積極的に利用しない」と考える教育機関とに分かれる。

最も積極的に利用している代表的機関としてはホーチミン市のドンズー日本語学校がある。ここでは学習開始時にまず漢字に対応する漢越音を約 800 字導入している。これは、その後の日本語学習で導入される語の漢字に漢越音をあてはめて意味を類推しやすくするのが目的である。他の日本語教育機関でも漢字の導入の際、その漢字そのものや、その漢字を用いた漢字語彙に相当する漢越音を導入する機関は多い。ハノイ国家大学外国語大学やハノイ外国語大学（現ハノイ大学）もこれに該当する（Tuyen 2003: 22）。

一方、消極的立場に立つ機関では、漢越語と漢日語の意味のずれを警戒し、非漢字圏の学習者と同様に漢字を教えている。漢越音導入を積極的に行わない機関としてはハノイ貿易大学、ハノイ国家大学人文社会大学などがある（Tuyen 2003: 22）。

日本で日本語教育を受けるベトナム人学生も、漢字を学ぶ際、漢越語の知識を教室で提示されることはほとんどない。日本では、ベトナム語を漢字圏と認識している日本語教師自体が少ないことも一因であろう。

一方、教える側とは異なり、ほとんどのベトナム人学習者は自身の漢越語知識を学習に利用しているとの調査結果がある。ベトナム人日本語学習者の漢字学習ストラテジーにおける漢越語利用の有無については Tuyen（2003）の研究がある。Tuyen はハノイの 4 つの日本語教育機関（ハノイ国家大学人文社会大学、ハノイ国家大学外国語大学、ハノイ外国語大学（現ハノイ大学）、ハノイ貿易大学）で日本語を学ぶ学生 416 名に対して、Bourke が開発した漢字学習ストラテジー SIL+（Strategies Inventory for Kanji Learning Version 1994）を改編した質問表に基づいて調査を行った。その結果、

- (1) 漢字学習ストラテジーをグループ別に見た場合、「漢越音」は「感情的反応」「文脈の利用」について使用される頻度が高い²（Tuyen 2003: 28-29）。
- (2) 具体的なストラテジーごとに比べた場合、特に「漢越音を覚える」、「漢越音から連想する」というストラテジーは漢字学習ストラテジーの上位（66 項目中 3 位と 5 位）に位置する³

² グループの内訳と結果（上位順）は以下の通り。1「感情的反応」（平均 3.09/4.00 以下同じ）、2「文脈での漢字の覚え方」（2.99）、3「漢越音」（2.97）、4「漢字の読み方の覚え方」（2.95）、5「漢字の形の覚え方」（2.87）、6「漢字の意味の覚え方」（2.80）、7「リソース」（2.79）、8「学習計画」（2.70）、9「ストーリー」（2.27）

³ 全 66 項目中、1 位は「知らない漢字は辞書を引いて覚える」（3.68/4.00）、2 位は「繰り返して書く」（3.61/4.00）、3 位は「漢越音を覚える」（3.57/4.00）、4 位は「同じ間違いをしないように注意する」（3.44/4.00）、5 位は「漢越音から連想する」（3.43/4.00）であった。

(Tuyen 2003: 30).

- (3) 教育機関で漢越音を積極的に取り入れるかどうかにかかわらず、学習者は漢越音を漢字学習ストラテジーとして積極的に利用している (Tuyen 2003: 34-35).

ということを明らかにしている。これより、ベトナムで学ぶベトナム人日本語学習者は教育機関にかかわらず学習ストラテジーとして漢越語を積極的に活用していることがわかる。

3. 日本語の漢字語（漢日語）と漢越語の特徴

日本語の漢字語の特徴はいくつかあるが、第一にその多様な読み方が挙げられる。いわゆる音読みと訓読みの二種に加え、音読みに限っても、取り入れた時代や地域、位相⁴によって三種類の読み方がある。時代別に呉音（六朝時代・江南）、漢音（唐時代、長安を範とする北方音）、唐音（宋音、南方）がある。現代日本語の音読みに見られるこの多様性は、現代中国語及び他の漢字圏においても見られないため、漢字圏出身者にとって日本語習得の難しさの一つとなっている。

第二に同音語の多さが挙げられる。玉岡（2002: 27, 2005: 49）によれば、日本語には中国語のような声調がないため、漢字導入時に中国語の漢字の発音が単純化され、多くの異字同音の漢字が生まれた。常用漢字中、多いものでは、/syoR/（R は長母音を表す）と発音される漢字が 65 字（全て音読み）、/koR/と発音される漢字が 65 字（1 字だけが訓読み）にも及ぶ（図 1）。このことも漢字圏出身者にとっては日本語習得の難しさの一つとなっている。

第三に和製漢語の存在が挙げられる。日本では、明治時代前後に欧米の学問成果を導入するにあたり、多くの和製漢語が形成された。科学技術、社会、哲学などの抽象的概念を表す語が多く、和製漢語の多くは中国、韓国、ベトナムに逆輸入されている。尚、和製漢語の多くは漢音で作られている。

次に、ベトナム語の漢字語（漢越語）の特徴について述べる。ベトナム語の辞書に登録されている単語の 7 割が漢字語（“tù Hán Việt: 漢越語”）といわれており⁵、これらは漢字表記が可能である。過去、対応する漢字が無い語については、漢字を応用した独自の文字チュノム（字喃）を作り、漢字と交ぜ書きをすることが行われた。現在ではラテン文字にアクセント記号をつけて表されるクォックグーという表記法が用いられており、書字としての漢字は使われていない。

⁴ 位相とはこの場合、おもに用いられる社会や分野を指す。宗教関係（宗派）などを意味する。

⁵ ベトナム語の語彙中の漢語借用語の量と中身については、富田（1988: 782）に次のような記述がある。

「ヴェトナム語は、既に述べたような歴史の必然的帰結として、その圧倒的多数の借用語を中国語（漢語）に負っている。それらは、いわゆる基礎語彙とよばれる語彙から、高度な文化語彙まで、実に広範囲に及んでいる。それらの語彙の、固有ヴェトナム語語彙に対する割合は、日本語における漢語からの借用語の割合を、はるかにしのいでいるものと思われる。また、品詞でいえば、「実詞」といわれる名詞や動詞、形容詞などに限らず、いわゆる「虚詞」といわれる文法語彙にまで及んでいる点で、日本語における漢語からの借用語とは趣を異にしている。」

Table 13
The 29 Sounds Shared by More Than 20 Kanji
out of the 1,945 Basic Japanese Kanji

No.	Phoneme	No. of Kanji Homophones	Examples
1	/syor/	65	小 称 症 勝 証 章 商 賞 省
2	/kor/	65 (one Kun-reading)	工 項 高 公 効 講 校 考 行
3	/si/	48	市 氏 死 資 士 史 師 視 志
4	/kan/	45	感 間 官 館 管 観 観 寒 関
5	/tor/	40	党 等 頭 当 刀 倒 投 統 討
6	/ka/	37 (three Kun-readings)	過 化 課 下 可 価 花 火 貨
7	/sor/	35	層 莊 走 想 相 草 総 送 争 早
8	/ki/	35	氣 期 機 記 基 季 器 經 競 企
9	/sei/	34 (one Kun-reading)	正 製 制 星 世 精 政 靜 成 整
10	/ken/	30	権 険 果 件 軒 見 健 研 験 圈
11	/kyor/	30	強 教 構 京 鏡 狂 競 協 共
12	/sin/	29	新 真 信 心 親 診 身 進 伸 深
13	/kei/	29	計 輕 型 系 景 係 經 敬 傾 繼
14	/tyor/	26	超 町 丁 調 兆 鳥 朝 張 頂
15	/sen/	26	先 千 戰 線 船 占 洗 選 宣
16	/sai/	25	再 最 際 才 裁 祭 探 裁 彩 細
17	/zyor/	24	上 場 状 条 情 城 常 乘 冗 刺
18	/tei/	23	低 帝 定 訂 提 庭 程 底 底
19	/hor/	23	方 法 報 訪 宝 胞 飽 放 砲 包
20	/sur/	23	週 州 集 周 宗 衆 秀 奧 習 終
21	/fu/	23	不 府 負 符 夫 付 府 普 父 浮
22	/kai/	23 (one Kun-reading)	会 回 界 解 階 海 介 開 改 快
23	/i/	23 (one Kun-reading)	意 委 医 位 異 威 移 違 困 衣
24	/bor/	22	亡 坊 忘 望 妨 暴 忙 防 房
25	/zi/	22 (one Kun-reading)	時 次 字 地 比 持 児 自 事 治
26	/hi/	21	非 日 費 比 否 秘 被 避 飛 悲
27	/yor/	21 (one Kun-reading)	用 要 幼 洋 樣 葉 陽 容 養 曜
28	/kyur/	20	旧 急 級 球 給 救 休 求 究 久
29	/tai/	20	对 隊 体 態 蒂 退 耐 待 貸

図 1 常用漢字中 20 語以上の同音語をもつ音（玉岡 2002：270）

また、漢越語は中国南方から入った漢字音が多く、そのことより日本の漢語の呉音との類似が指摘されている。例えば「大（日：ダイ、タイ）」はベトナム語でも「ダイ」と読む。一方中国語（北京語）では「ター（dà）」と読む。表 1 のように使用される漢字と音が非常に似ている語も多く存在する。現代日本語の漢字音に多いのは呉音と漢音であるため、呉音の漢字語については中国語話者よりベトナム語話者の方が音からの推測が有利に働くのではないかと考えられる。逆に日本人のベトナム語学習においても、ベトナム語を学ぶ際漢字を積極的に想起することによって語彙の定着をはかろうとするといわれている。ハノイは「河内」ベトナムは「越南」とい

表 1 日本語の漢字語（漢日語）とベトナム語の漢字語（漢越語）の類似例

漢日語	漢越語	漢日語	漢越語
意見 (I ken)	Ý KIẾN (意見)	旅客 (ryo kaku)	LỮ KHÁCH (旅客)
過去 (ka ko)	QUÁ KHỨ (過去)	古代 (ko dai)	CỔ ĐẠI (古代)
結論 (ketsu ron)	KẾT LUẬN (結論)	孤独 (ko doku)	CÔ ĐỘC (孤独)
注意 (chuu i)	CHÚ Ý (注意)	管理 (kan ri)	QUẢN LÝ (管理)

うように、漢字による表記を経由して覚えるのである。漢字知識や漢越語知識がお互いの言語を学ぶ際有利に働くという感覚は、ベトナム人と日本人のどちらも持っていると考えられる。

以上のことより、ベトナム人にとって漢越語が有利に働くかどうかについては4つの方向性からの検証が必要と考えられる。つまり

- (1) ベトナムの漢越語と日本語の漢字語彙の意味的な異同の検証
- (2) 日本の漢字音と漢越音の音声上の類推、認識の調査
- (3) 書字の知識との関係
- (4) ベトナム人の漢字認識がどのような認知的経路をたどるかの検証

である。(1)は日本語漢字語彙を文字として示した場合、一文字ずつの漢越語訳をあてはめて意味を類推することができるかという検証である。ここには呉音や漢音などの読みは関係しない。(2)は日本語を音声として示した場合、その対訳が類推できるかという検証である。ここには呉音の存在がどの程度有利に働くかが関係してくる。(3)はベトナム人にとって書字の知識の有無がどの程度漢字の認識に影響を与えるかという検証である。これは熟達度によって異なってくると予想される。(4)はベトナム人が漢字の意味を視覚的に認識する際、文字から直接意味にアクセスするのか、それとも音声情報を経由して意味にアクセスするのか、或いは聴覚的に認識する場合には書字情報なしで意味にアクセスできるのかといった検証である。それにより(1)(2)(3)の重要度が異なってくると考えられる。本稿では(1)について検証を行う。

4. ベトナム語の漢字語と日本語の漢字語との異同調査

4.1. 調査方法

今回は、調査対象として日本語能力試験出題語彙（約 8,000 語）の中にある二字漢字語を用いた。理由は以下の3点である。

- (1) 日本語の語彙の多くが二字の漢字語から形成されているため、調査対象とする語数が多く、対照することの意義が大きい⁶。三字以上の漢字語も基本的に二字漢字語との組み合わせになるので応用が利く。
- (2) 二字漢字語は音読みの語が多く、他の語（「食べる」などの動詞、「花」などの一字語、「ゆっくり」などの副詞）よりベトナム語との一致率が高いと考えられる。
- (3) 一字漢字語は書字を持たない彼らにとって基本的に一つ一つ対応を覚えていくものであり、一致を調べることの意義が薄い。

⁶ 日本語の国語辞典の70%は二字漢字語で構成され、それらの多くの発音が音読みである（玉岡 2005：49）といわれている。

表2 今回抽出した二字漢字語の出題語彙全体に占める割合

	1 級	2 級	3 級	4 級	総語彙数
出題語彙全体	2,962	3,644	695	751	8,052
二字漢字語	1,656	1,665	221	174	3,716
割合	56%	46%	32%	23%	46%

二字漢字語の抽出にあたっては、育達商業技術學院應用日語系が作成した『日本語能力試験出題基準（改訂版）語彙表』を用いた。二字漢字語として抽出した品詞は一般名詞、数詞、形容動詞語幹、サ変動詞語幹などである。音読み語も訓読み語もとりにれた。一致の比率を見ることを目的とするため、日本の固有語も含まれた状態がよいと判断したためである⁷。抽出語彙数と能力試験出題語彙全体に占める割合を級別に示したものを表2に示す。

また、和製漢語の一致状況も調査した。和製漢語については、中国との異同を調べるため、中国に取り入れられている和製漢語について記されている『漢語外来詞詞典』（上海辞書出版社1984年）を参考にし、319語について一致度を調べた⁸。

4.2. 分類基準

次に分類方法について述べる。表3に分類基準を示す。

本稿では二字漢字語について大きく次の6種類に分類した。(1)が最も一致度が高い場合であり、(6)が最も低い場合である。(1)～(6)は、相違の大きさの順になっている。

分類に際して生じた問題については以下のように対応した。まず、対応する漢越語が存在してもほとんど使用されていない場合は、そのことを注記し、普段使っている語を対応させた。また、日本語に対応する漢越語は存在するが意味が異なる場合もそのことを注記し、意味が等しく対応する語を対応させた。固有語と漢越語の両方が存在する場合、その漢越語が一般的に用いられている場合は(1)に対応させ、固有語を注記した。漢越語をほとんど用いない場合は(6)に対応させた。同じ意味の漢越語が多く該当する場合は一般的な方を採用したが、どちらもよく用いられる場合はその他とした。作業はまず日本語の堪能なベトナム人留學生が分類し、その後日本語教育の専門家である Tuyen と Thuy が修正した。

⁷ 訓読み語であっても漢越語で同じ表現をする場合もある。例えば「音色 (ÂM SẮC)」 「身近 (THÂN CẬN)」 など。

⁸ ここには日本の漢字語 892 語が収録されており、収録語数の最も多いものの一つと思われる。しかしあまり専門用語は含まれていない（金 2005：113）。

表3 漢字語対照データベースの分類基準

分 類 基 準	語 例 ⁹	
(1) AB/AB 同じ意味を表す語が、同一の漢字を用いる場合	会談	
	HỘI (会) ĐÀM (談)	
(2) AB/AC,CB 同じ意味を表す語が、漢日語と漢越語では一字異なるが、同一の字が同じ位置にある場合	診察	
	CHẨN (診)	CHẨN (診)
	SÁT (察)	ĐOÁN (断)
(3) AB/BA 日本語の漢字語と同じ漢字を用いるが、語順が逆転する場合	階段	
	GIẢI (階)	ĐOẠN (段)
	ĐOẠN (段)	GIẢI (階)
(4) AB/CA,BC 同じ意味を表す語が漢日語と漢越語では一字異なり、同一の字が異なる位置にある場合	学校	
	HỌC (学)	TRƯỜNG (場)
	HIỆU (校)	HỌC (学)
(5) AB/CD 同じ意味を表す語が漢日語と漢越語では全く異なっている場合	貯金	
	TRỮ (貯)	TIẾT (節)
	KIM (金)	KIỆM (儉)
(6) AB/cd,Cd,cA,Bc 他 同じ意味を表す語が漢越語ではなくベトナムの固有語である場合。固有語と漢越語との混種語も含む。	大人, 電車	
	ĐẠI(大) NHÂN(人)	người (人)
	ĐIỆN (電) XA (車)	lớn (大きい) tàu (乗り物) ĐIỆN (電)
(7) その他 二語が一語、あるいは三語以上の漢越語に相当する場合／複数の漢越語が該当し、どの語もよく用いられる場合	電気	
	ĐIỆN (電) KHÍ (気)	ĐIỆN (電)

4.3. 調査結果と考察

表4, 図2に対照結果を示す。

まず調査語彙全体について述べる。日本語とベトナム語の二字漢字語が表記においても意味においても完全に一致する(1)タイプの語の比率が36%で、表記の一部に不一致のある(2)~(4)の語を含めると54%であった。このことより、漢字と漢越音の対応を知っていることで、二字漢字語の5割程度の意味の類推が可能であることがわかる。今回調査した二字漢字語は能力試験出題語彙全体の46%なので、少なくとも25%の語彙については漢越語の知識から意味を類推可能であるといえる。

⁹ 上段は日本語、下段左は日本語をそのまま漢越語標記した場合、右はベトナム語本来の言い方。漢越語は大文字、固有語は小文字で示してある。

表 4 日越漢字語の対照結果

	語 例	全体	1 級	2 級	3 級	4 級	和製漢語
(1) AB/AB	会談	1,331	546	671	83	31	203
	HỘI ĐÀM	36%	33%	40%	38%	18%	64%
(2) AB/AC,CB	診察	476	261	184	21	14	38
	CHẨN SẮT CHẨN ĐOÁN	13%	16%	11%	1%	8%	12%
(3) AB/BA	段階	49	21	27	3	2	7
	GIAI ĐOẠN ĐOẠN GIAI	1%	1%	2%	1%	1%	2%
(4) AB/CA,BC	学校	140	61	68	7	5	10
	HỌC HIỆU TRƯỜNG HỌC	4%	4%	4%	3%	3%	3%
(5) AB/CD	貯金	306	161	116	21	10	15
	TRỮ KIM TIẾT KIỆM	8%	10%	7%	10%	6%	5%
(6) AB/cd 他	大人	1,399	596	593	85	110	46
	ĐẠI NHÂN người lớn	38%	35%	36%	38%	63%	14%
(7) その他	電気	15	10	6	1	2	0
	ĐIỆN KHÍ ĐIỆN	0%	1%	0%	0%	1%	0%
総語数		3,716	1,656	1,665	221	174	319

二字漢字語の対照結果(級別)

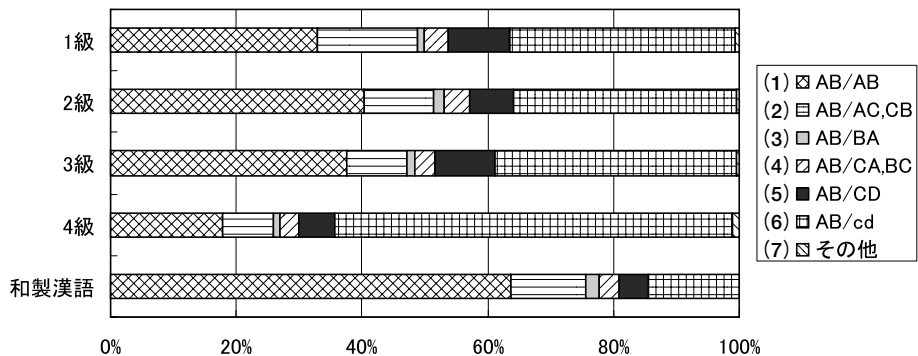


図 2 日越漢字語の対照結果

級別に見た場合、最も一致度が高いのは2級語彙で40%であり、(2)～(4)のずれを含めると57%であった。このことより、2級の二字漢字語については、6割は類推が可能であることがわかる。1級語彙については完全な一致率は33%だが、一字ずれの(2)が16%と高くなっているため、2級同様、類推可能性は高いと考えられる。ただし、1級語彙の方が2級語彙より語彙全体に占める二字漢字語の比率が高いので(1級56%, 2級46%), 1級と2級については、類推

の働く度合いは大きくは変わらないと考えられる。ただし、1級語彙は2級よりもずれに注意する必要がある。

最も一致度が低いのは4級語彙で(1)が18%、(1)～(4)を合わせても30%であった。語彙全体に占める二字漢字語の比率も23%と低い。このことより、4級語彙は日本語の固有語率が非常に高く、漢越語の知識はあまり有利に働かないことが分かる。4級語彙で二字漢字語の一致度が低いことについては、4級の二字漢字語には具体的で抽象度の低い語が多いことが理由であると考えられる(例：大人→*ngườì lớn* など)。抽象度の高い語のほうが、漢語らしさが高く、日本語との一致も多いのだろう。

3級については2級同様比較的高い一致率を示しているが(38%)、3級の出題語彙全体に占める二字漢字語の比率が32%と他のレベルより低いこと、二字漢字語以外の語彙のほとんどが固有語からなっていること、「食料品」のような三字以上の漢字語はわずか16語であったことを考えると、二字漢字語だけの一致度は高めだが、3級の語彙全体としてはさほど一致していないと考えられる。

和製漢語については、一致率が6割という結果になった。今回は中国で出版された『漢語外来詞詞典』に掲載されている和製漢語を調査語として利用したことを考えると、中国語ほどは和製漢語が入っていない可能性が伺える¹⁰。しかし6割という一致率は、他の非漢字圏と比べれば十分に高い比率である。また、これまで一般的に学術用語や専門用語については日越での一致率が高いのではないかと、といわれてきたが、学術用語等の抽象語が多い和製漢語の一致率が高いことは、実際にその可能性が高いことを示しているといえる。表5に和製漢語の一致状況を示す。

漢字語のずれについては、調査の結果、最も多かったのは(2)(境界(*CẢNH GIỚI*)⇒辺界(*BIÊN GIỚI*))のパターンであった(476語)。(4)(学校(*HỌC HIỆU*)⇒場学(*TRƯỜNG HỌC*))は(2)より比較的少なく(140語)。(3)(段階⇔階段)は49語しかなかった。(3)は日本語とベトナム語の違いを示す際よく提示されるが、二字漢字語の割合としては非常に少ない。しかしベトナム語が「被修飾語+修飾語」の語順であることや、「電車」(*tàu*(乗り物)+*ĐIỆN*(電))のように固有語との混種語で(3)のパターンの語が見られることを考えると、全体ではもっと比率が高まる可能性がある。

また、音読み語と訓読み語の関係であるが、やはり音読み語が(1)に多く、訓読み語は(6)に多いという傾向がみてとれた。これについては更に精査する必要があるが、音読みか訓読みかを覚えることは、ベトナム人学習者の意味の類推に有利にはたらくと言っていいだろう。

¹⁰ 無論、日本から直接ベトナムに輸入され、中国には輸入されなかった和製漢語もあると予想されるが、両国の関係を考えた場合、数は多くないと推測する。

表 5 和製漢語の一致状況

(1)	市場, 演出, 階級, 会談, 概念, 解剖, 概略, 拡散, 化石, 議決, 気質, 客観, 強制, 協定, 共和, 空間, 軍事, 経費, 決算, 権威, 権限, 原作, 原子, 元素, 原則, 抗議, 公認, 固定, 細胞, 参照, 施行, 社交, 主観, 主体, 象徴, 人格, 進展, 進度, 侵略, 制裁, 政策, 制約, 前提, 総合, 相対, 退化, 動機, 投資, 同情, 独裁, 独占, 特権, 内閣, 配給, 背景, 派遣, 判決, 反射, 反応, 悲観, 否決, 比重, 敏感, 封鎖, 分子, 分配, 封建, 方式, 放射, 飽和, 保険, 本質, 密度, 領土, 理論, 意識, 印象, 衛生, 演習, 演説, 演奏, 解放, 化学, 仮定, 間接, 寒帯, 機関, 企業, 記号, 技師, 義務, 教養, 金額, 偶然, 具体, 経営, 芸術, 系統, 現実, 現象, 建築, 憲法, 原理, 効果, 広告, 光線, 肯定, 克服, 国立, 作者, 作品, 思想, 指導, 支配, 資本, 宗教, 集団, 集中, 重点, 主義, 出版, 消化, 商業, 承認, 消費, 私立, 資料, 神経, 信号, 信用, 世紀, 精神, 政党, 性能, 成分, 選挙, 宣伝, 創作, 想像, 速度, 組織, 素質, 対象, 代表, 立場, 単位, 知識, 地質, 抽象, 直接, 直角, 哲学, 電子, 特徴, 内容, 日程, 能率, 能力, 発明, 半径, 悲劇, 否定, 批評, 標本, 舞台, 物質, 物理, 分解, 分析, 文明, 方針, 身分, 民主, 目標, 要素, 予算, 理想, 医学, 運動, 会話, 科学, 規則, 計画, 経験, 経済, 警察, 工業, 交通, 社会, 自由, 道具, 場合, 反対, 必要, 文化, 文学, 法律, 銀行, 雑誌, 時間, 電話, 時計, 絶対
(2)	革命, 貴重, 組合, 審判, 博士, 機械, 学歴, 規範, 協議, 直感, 反感, 標語, 改訂, 喜劇, 脚本, 錯覚, 保障, 理性, 課程, 議員, 基準, 基地, 交換, 交際, 講師, 実績, 終点, 水準, 評価, 法則, 栄養, 教授, 事態, 失恋, 節約, 明確, 電報, 番号
(3)	回収, 議会, 気体, 講演, 刺激, 制限, 簡単
(4)	生産, 任命, 会計, 固体, 大気, 抵抗, 温度, 故障, 輸出, 輸入
(5)	暗示, 情報, 活躍, 常識, 学士, 精算, 貯蓄, 介入, 共鳴, 景気, 消防, 金融, 就任, 気分, 場所
(6)	母校, 仮名, 緊張, 主食, 法廷, 液体, 電波, 電流, 免許, 電車, 幹部, 海拔, 結核, 繊維, 直径, 版画, 反響, 了解, 冷蔵, 和文, 講習, 論理, 可決, 園芸, 遠足, 温室, 学会, 科目, 記録, 劇場, 現金, 索引, 作物, 実感, 水素, 直流, 電池, 年度, 俳句, 物語, 列車, 柔道, 注射, 漫画, 鉛筆, 出口

5. まとめと今後の課題

本稿ではベトナム人日本語学習者にとってどの程度漢越語が有利に働くのかを調べるため、日本語能力試験出題基準に含まれている語彙約 8,000 語における漢字語（漢日語）とベトナム語の漢字語（漢越語）の一致とずれについて調査した。

その結果以下のことが明らかになった。

- (1) 能力試験出題語彙中の二字漢字語（46%）の 36% が漢越音と一致し、18% が類似していることから、少なくとも出題語彙全体の 25%（54%*46%）は漢越音から意味の類推が可能。
- (2) 1 級と 2 級語彙については日越二字漢字語の一致度が高く、語彙全体に占める二字漢字語の割合も高いため、漢越語の知識が有利に働く可能性が高い。
- (3) 4 級語彙については二字漢字語の日越の一致度は低く（18%）、語彙全体に占める日本語

の固有語の割合も高いため、漢越語の知識が有利に働く可能性は低い。3級語彙については二字漢字語自体の一致度は高め（38%）だが、3級語彙全体に占める二字漢字語の比率が低い（32%）ため、4級同様、漢越語の知識はさほど有利には働かない。

- (4) 和製漢語の日越の一致率は高く（64%）、専門用語などについては漢越語の知識が有利に働く可能性が高い。

このことより、漢字語の意味認知についてのみ言及すれば、漢越語の知識は日本語学習に有利に働きうるといえよう。しかしその知識が有利に働くのは基本的に中級以降ということになる。3級、4級に相当する初級では書字を持たないベトナム人日本語学習者が、他の非漢字圏の日本語学習者より有利であるということはあまり考えられない。初級では、漢字については一つ一つの書字・その意味・読み・漢越音の対応を覚える作業、他については日本語の固有語を覚える作業、文法構造に慣れるための作業、発音に慣れるための作業の負担が大きく、学習負担は他の非漢字圏の学習者と同様に大きいと考える。ベトナム人のための日本語教育のカリキュラムを計画する際、初級の段階に、もっと日越の一致語をとり入れることで、語彙の負担を軽くしてもよいともいえる。

一方、中級や上級レベルについては、他の非漢字圏の学習者とは異なった対応を考えてもよいだろう。ドンズー日本語学校のように、漢字数百字とそれに対応する漢越音を一度に導入し、意味を類推させる方式は2級や1級レベルについては語彙力を早期向上に効果があると考えられる。実際学習者は漢字と漢越音の対応表を携帯し、その漢字の漢越音をすぐに調べられる状態にしているようである。恐らく、ゼロ初級の段階で800字の対応を導入するより、初級終了時に800字の対応を導入する方が学習者もその意義を実感しやすく、効果を発揮するのではないかと予測する。何よりも、こういった漢越語と日本語の漢字語の一致・非一致の情報を盛り込んだ形の漢字教材の作成、ないし漢字教育が行われることが、ベトナム人の漢越語知識を活かした効果的な漢字学習には必要と考える。

今回はベトナムの漢越語と日本語の漢字語との意味的な異同について調査・分析を行った。これまで、ベトナム語が漢字文化圏と言われつつ、あまり漢字圏の学習者として認知されていない現状から考えると、この研究成果はベトナム語と日本語との類似性を数的に示した点で意義があると考えられる。

しかし、本当にベトナム人日本語学習者にとって漢越語が有利に働くかどうかを明らかにするためには（1）日本の漢字音と漢越音の音声上の類推、認識の調査（2）書字の知識との関係性（3）ベトナム人の漢字認識がどのような認知的経路をたどるかの検証、を行う必要がある。また、その際、韓国語話者と中国語話者との比較が必要になってくるだろう。今後の課題としたい。

参 考 文 献

- 小原重紀子 (2003) 「文末イントネーションの音調識別と機能理解についての一考察—ベトナム人日本語学習者を対象として—」『2003 年度日本語教育学会秋季大会予稿集』
- 小森早江子 (2007) 「英語を母語とする中・上級日本語学習者の漢字語彙の認知について—音の影響—」『2007 年度日本語教育学会春季大会予稿集』, 119-124.
- 玉岡賀津雄 (2005) 「命名課題において漢字 1 字の書字と音韻の単位は一致するか」『認知科学』, 12(2), 47-73.
- 松田真希子・森 篤嗣・金村久美・後藤寛樹 (2006) 「日本語学習者の名詞句の誤用と言語転移—アジア 7 カ国の日本語学習者の作文データに基づく分析—」『留学生教育』第 11 号, 45-53.
- 松田真希子・金村久美・森 篤嗣・後藤寛樹 (2006) 「対訳付き日本語作文データベースに基づくベトナム語母語話者の誤用分析」『日本語教育方法研究会誌』VOL. 13, No. 1, 18-19.
- 松田真希子・金村久美・後藤寛樹・森 篤嗣 (2007) 「学習者が非母語話者の日本語能力に与える影響—ベトナム語母語話者の名詞句の容認度を例に—」『日本語教育方法研究会誌』VOL. 14 No. 1, 26-27.
- 金村久美 (1999) 「ベトナム語母語話者による日本語の発音の音調上の特徴」『ことばの科学』名古屋大学言語文化部 言語文化研究会, 第 12 号, 73-91.
- 金 光林 (2005) 「近現代の中国語、韓国・朝鮮語における日本語の影響—日本の漢字語の移入を中心に—」『新潟産業大学人文学部紀要』, 第 17 号, 111-128.
- Than Thi Kim Tuyen (2003) 「ベトナム人日本語学習者の漢字学習ストラテジー」未刊行修士論文 東京外国語大学 (Than Thi Kim Tuyen (2006) 「ベトナム人日本語学習者の漢字学習ストラテジー」『外国語大学の論集』(ベトナム) に再録)
- Tamaoka, K., Kirsner, K., Yanase, Y., Miyaoka, Y. & Kawakami, M. (2002). A Web-accessible database of characteristics of the 1,945 basic Japanese kanji. *Behavior Research Methods, Instruments & Computers*, 34, 260-275.
- 国際交流基金 (2002) 『日本語能力試験 出題基準』【改訂版】 凡人社
- 育達商業技術学院応用日語系編 『日本語能力試験出題基準語彙表』
- 〈<http://web.ydu.edu.tw/~uchiama/data/noryoku.html>〉 2006 年 11 月 10 日参照
- 富田健次 (1988) 「ヴェトナム語」『言語学大事典 (上)』東京, 三省堂, 304-325.
- 劉 正庚・高 名凱・麥 永乾・史 有為編 (1984) 『漢語外来詞詞典』上海辞書出版社

〔付記〕 この論文は平成 18～19 年度科学研究費基盤研究 (C) 「日越漢語対照データベースの開発研究」(研究代表者: 永野建二郎), 文部科学省科学技術振興調整費 「アジア言語情報技術資源ネットワークの構築 ALRN」(研究代表者: 三上喜貴) から財政的な援助を受けている。